



いのちと環境を守る第3回フォーラム

オール電化は本当にエコ?

主催

いのちと環境を守る福岡ネットワーク

お問い合わせ・チケット申し込み先

いのちと環境を守る福岡ネットワーク事務局(九州産直クラブ内)
TEL.092-567-8350

ドリームグループ長丘事務所
TEL.092-552-7201

チケット販売先

西区: オーガニックハウス夢広場マリナ店
092-895-6860

南区: オーガニックハウス夢広場長丘店
092-551-6773

古賀市: オーガニック広場ひふみ
092-944-5755

後援

みらい実行委員会・NPO法人たんぽぽとりで・OFF電磁波ささぐりの会・NPO法人環境と健康を考える会・中継塔問題を考える九州ネットワーク・オーガニックハウス夢広場・九州産直クラブ・赤とんぼの会・いとしま・環境共育を考える会

エルガーラ 中ホール

福岡市中央区天神1-4-2

地下鉄空港線天神駅より徒歩5分
地下鉄七隈線天神南駅より徒歩1分
西鉄福岡(天神)駅より徒歩2分
天神バスセンターより徒歩3分



私たちを取り巻く食や環境問題。化学物質過敏症や電磁波過敏症の人たちが増えています。

オール電化は、本当にエコなのでしょうか? あなたのすぐ近くにあるこれらの問題を、まず「知る」ことから始めてみませんか?

12:30 開場

13:00 小若順一さん「身近な食から環境問題まで」

14:00 荻野晃也さん「オール電化は、本当にエコ?~電磁波問題から原発まで」

14:50 休憩

15:05 シンポジウム

パネラー

小若順一さん

荻野晃也さん

スター高橋さん(タレント)

植本阿良樹さん(有機建築研究所代表)

コーディネーター

中村 肇さん

(いのちと環境を守る福岡ネットワーク代表)

16:30 終了

小若順一

1950年岡山県生まれ「食品と暮らしの安全基金」代表。1984年に日本子孫基金を設立、ポストハーベスト農業の全容を世界で初めて解明するなど、独自の視点と調査能力で、食品や暮らしの安全を追求する活動に精力を傾けてきた。消費者・環境NPOの草分け的存在であり、第1人者。著書には、「食べ物から広がる耐性菌」「新食べるな、危険!」「食べたい安全!」「リサイクルは資源のムダ使い」など多数ある。

荻野晃也

1940年富山市生まれ。京都大学理学部物理学科卒。京都大学工学部助手。理学博士。専門は、原子核物理学、電磁波測定学、放射線統計学など。電磁波問題の第1人者で、現在、電磁波環境研究所所長。著書:「原子力と安全論争」「原発の安全上欠陥」「ガンと電磁波」(技術と人間)「携帯電話は安全か?」(日本消費者連盟)「ケータイ天国・電磁波地獄」(週間金曜日)他多数。

NPO法人 食品と暮らしの安全基金

1990年に店頭からレモンが消えた「日米レモン戦争」、環境ホルモンの溶出指摘で業界が騒然とした1998年の「カップ麺論争」、IH調理器の電磁波を2002年に測定しいち早く危険性を警鐘。ほかにも遺伝子操作食品、ダイオキシン、シックハウス、そして当会大地震による浜岡原発爆発の危険を警告した「原発災害」問題など、常に最先端の問題と情報を、どこよりも早く先駆けて提議、発信してきた。

スター高橋(高橋徹郎)

1967年生まれ。愛知県出身。九州芸術工科大学芸術工学部工業設計学科卒業(現九州大学芸術工学部工業設計学科)。講演・戯曲の制作・演出・演技指導・テレビ番組構成・イベントの司会・CM出演など。雷山保育所保護者会副会長(2005年)、雷山保育所保護者会会長(2006年)、雷山小学校PTA副会長(2008年)、雷山小学校PTA会長(2009年)、糸島三都110キロウォーク実行委員会 実行委員長。

植本阿良樹

1956年広島県生まれ。九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業。有機建築研究所所長。一級建築士。商業建築の世界から1991年、環境建築の世界へ入る。現在、戸建住宅を中心に環境建築の設計活動を行っている。特に化学物質過敏症、電磁波過敏症患者の環境改善、居住可能住宅設計に力を入れている。

中村 肇

1954年長崎県生まれ。10数年に渡る生活協同組合運動を経て、1990年自然食品店夢広場を設立、株式会社九州産直クラブ代表取締役を経て現在(株)ドリームグループ副社長、もやいバンク福岡理事長、食育派遣講師。様々なNPO/NGOや社会運動に参加。半農半社会運動を目指して自然農野菜づくりを実践中。